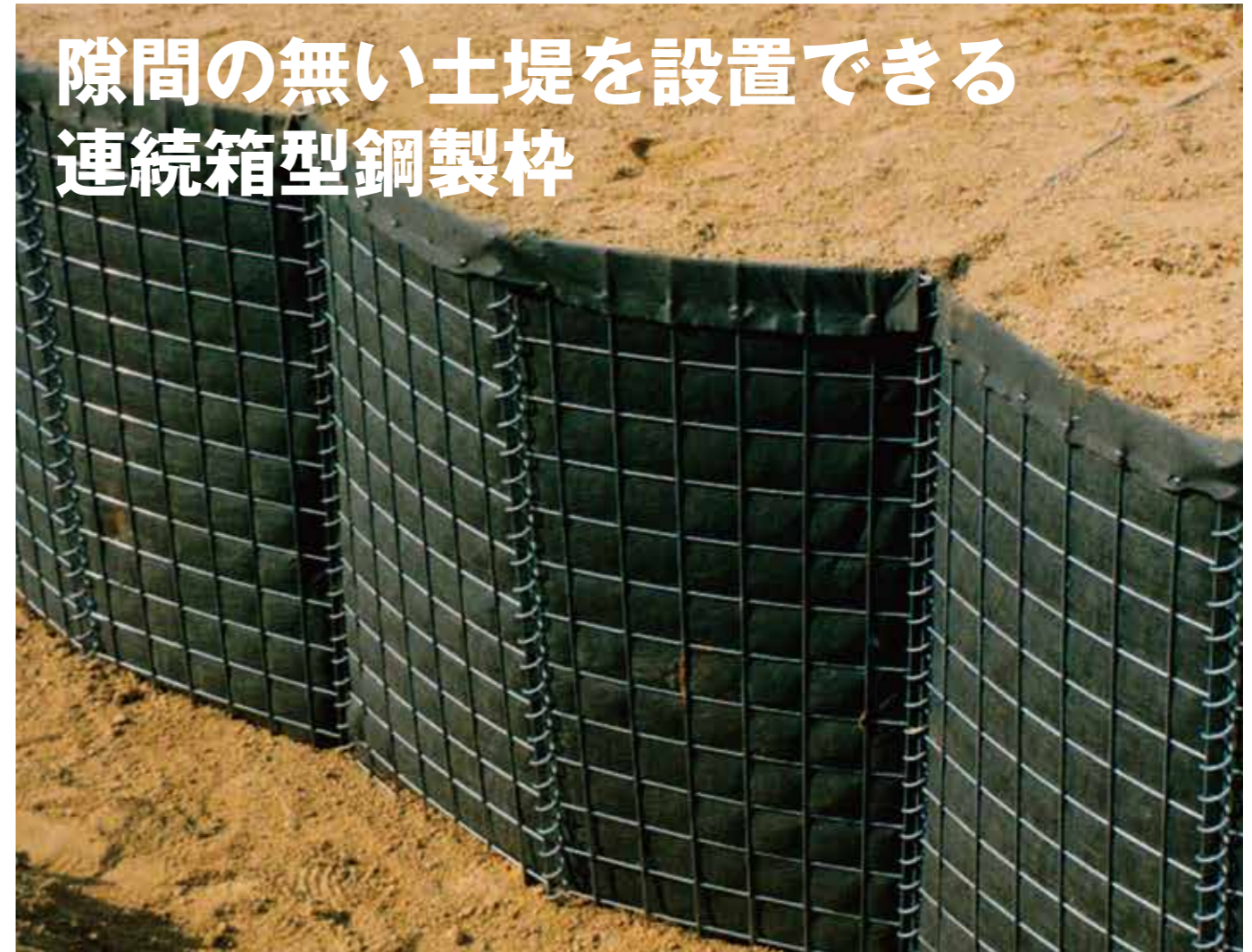


MAX WALL

マックスウォール

隙間の無い土堤を設置できる
連続箱型鋼製枠



連続一体 高耐久性 簡単施工

MakMax

MakMax 太陽工業株式会社

www.taiyokogyo.co.jp

〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4	TEL:06-6306-3056	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-8-11	TEL:052-541-5118
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-33-16	TEL:03-3714-3361	〒732-0052 広島市東区光町1-12-16	TEL:082-261-1251
〒061-1274 北広島市大曲工業団地4-2-9	TEL:011-887-8350	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19	TEL:092-411-8003
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-11-1	TEL:022-227-1364	〒901-0152 那覇市字小祿662-5F	TEL:098-851-4423

●一級建築士事務所 ●特定建設者大臣許可(特-28)第381号 ●一般社団法人日本膜構造協会正会員 ●一般社団法人リバーテック研究会会員 ●一般社団法人防衛施設学会会員 ●布製型枠協会会員

製品説明動画



MakMax 太陽工業株式会社

連続した土堤を迅速に簡単に設置できます。

マックスウォールは、長期間にわたる仮設工、本設工のための仮設資材、災害時における本復旧までの応急対策や、防災用備蓄資材として適用できる連続した箱型鋼製枠です。

亜鉛メッキ鉄線を溶接したメッシュのカゴ(鋼製枠)を連結し、カゴの内側に充填材こぼれ出し防止の不織布などを張った構造で、簡単に展開・連結して現地発生土等を充填設置することが可能です。

鋼製枠で構成されているため耐久性が高く、長期間の仮設にもご使用いただけます。



土砂の連続性(止水性確保)



一体性比較実験状況

02 耐久性が高い

亜鉛メッキ鉄線を溶接した鋼製枠は、海水飛沫地域で5年程度、陸上・土中で10年以上の耐久性能があり、長期仮設としても適用できます。



漁港嵩上げ土留工(海岸で使用)



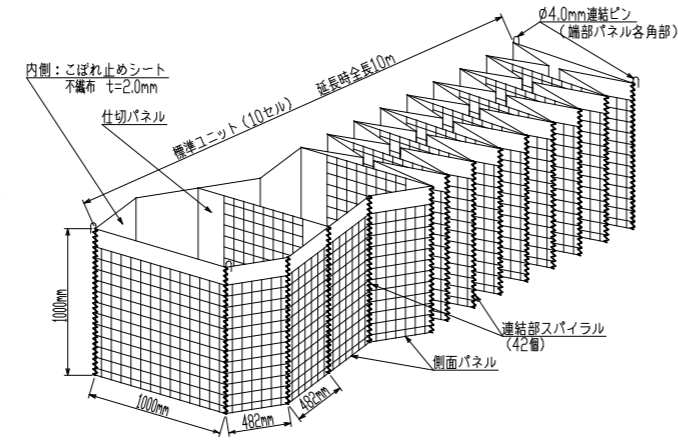
洪水に対応した仮締切護岸工



東日本大震災後(2012.3 施工)から3年以上経過(2015.5 時点)

製品概要

例) マックスウォール MW-1000



01 安定性が高い

鋼製枠が連結されているので、一体性が強く、結束ベルト補強した大型土のうと比較して約4倍*の荷重に耐える構造で、土堤や土留め壁が設置できます。
※当社比較実験結果による

03 施工性が良い

組立済みで、現場荷下ろし後すぐに展開・充填設置でき、分割・延長・屈曲や段積み施工もできます。中詰材は、砂や碎石、現地発生土などが使用できます。



平積み状態で運搬・保管が可能



人力ですぐに展開が可能



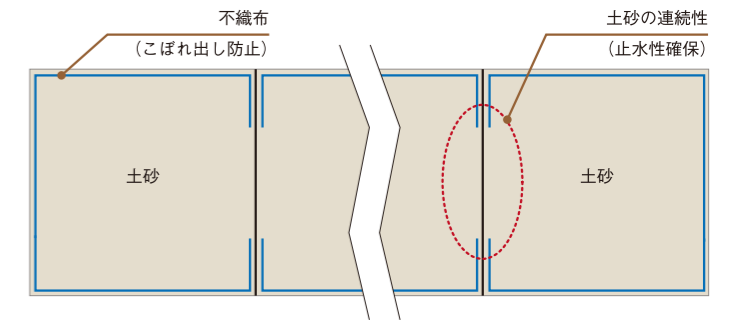
現地発生材を充填(再生材を使用)



道路の曲線に沿って設置が可能

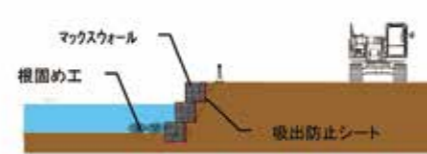
MAX WALL

平面概略図

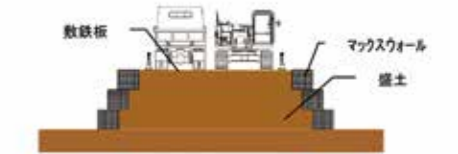


04 適用例

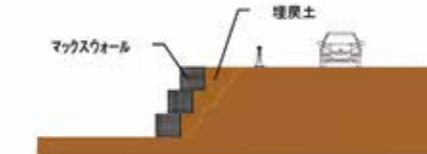
仮設護岸工



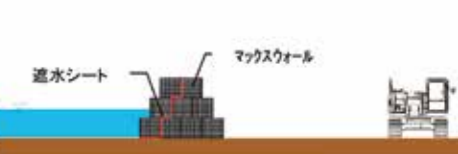
仮設工事用道路



土留工(法面対策)



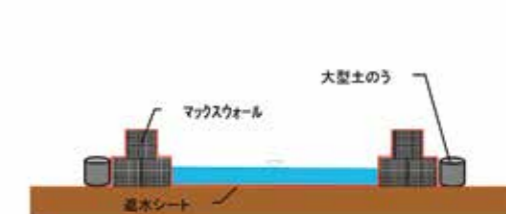
仮締切工



堤防嵩上げ工



仮設導水路工



標準仕様

種類	高さ(m)	幅(m)	セル数	全長(m)	重量(kg)
MW-1350	1.35	1.0	10	10.0	約140
MW-1000	1.0	1.0	10	10.0	約110
MW-700	0.7	0.7	5	3.5	約30

※全長は展開時の概寸です